

東京オリンピック・パラリンピックと水産エコラベル

みなさん、水産エコラベルをご存じでしょうか。これは、水産資源や生態系などの環境に配慮した方法で行われている漁業や養殖業、流通・加工業を認証する仕組みのことをいいます。我が国で普及している代表的なものは、MEL (Marine Ecolabel Japan) やMSC (Marine Stewardship Council) です (以下、MEL等と称す)。例えば、当研究所最寄りの地下鉄駅近くにある全国規模のコンビニやスーパーで販売しているおにぎり等にも、最近、これらの認証シールが貼付されています。また、道内では、北海道漁連が生産するホタテや秋鮭が認証を受けています。今日問題となっている違法漁業や環境に悪影響を及ぼす方法で行っている漁業は、水産資源を枯渇させ、海洋の生態系等にも深刻な影響を与えます。これを踏まえ、国際連合食料農業機関 (FAO) は、環境への影響を考慮して生産及び加工・流通された水産物にエコラベルを添付するためのFAO水産エコラベルガイドラインを策定しました。そのガイドラインに基づき策定されたMEL等の認証規格のもと、独立した認証機関を通った、事業者、魚種及びその事業形態に対し、認証シールの貼付が認められます。消費者の環境に対する意識が高い欧州では、非認証水産物を仕入れない事業者が増えています。また、来年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食料調達基準は、SDGsが掲げる、持続可能な消費・生産が確保される社会の実現が図られるよう規定されましたが、ここでもMEL等認証水産物等の調達が義務づけられています。MEL等は、認証された漁業に対し環境への影響の管理を求めていることから、我が国の認証水産物を増やすためにも、ICT等技術を活用し、管理された漁場や管理が容易な漁港水域での増養殖業の普及が期待されています。

(水産土木チーム 上席研究員 石井 馨)

* * * *

表紙左上記号 ISSN 2432-2652の説明

国際的なコード番号であるISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号)は、ISSN ネットワークが管理する、逐次刊行物を識別するための固有の番号です。この番号は国立国会図書館ISSN日本センターから付与されたものです。